



第2回テクニカルセミナー開催

- 獲得性環境因子の生体応答システム特別プロジェクト研究組織 -
- 21世紀COEプログラム「複合生物系応答機構の解析と農学的高度利用」 -



セミナーで講義を行う田中客員教授

2月27日（金）総合研究棟A公開講義室において、獲得性環境因子の生体応答システム特別プロジェクト研究組織と、21世紀COEプログラム「複合生物系応答機構の解析と農学的高度利用」が主体となり、学類生及び大学院生のための「テクニカルセミナー」が開催されました。同セミナーでは、始めに田中耕一客員教授から「質量分析装置の開発要素と周辺技術」について講義があり、ひとつの装置を開発するに当たり、物理、化学、電気・電子工学、機械工学等さまざまな要素技術・知識が必要であるなど説明がありました。

引き続き、同棟7階のCOEプロジェクト実験室において、飛行時間型質量分析装置に関して、田中客員教授と大学院生や若手教官等と同装置に関するディスカッションが行われました。

農林技術センターがISO14001規格認証取得

農林技術センターは、2月19日にISO14001（環境マネジメントシステム）規格の認証を取得しました。

近年、環境問題への高まりとともに国内において



認証登録証授与式（3月1日）の様子。左から富江副学長、坂井教授、瀧川助教授、稲田氏（(財)ベターリビングシステム審査登録センター）、餅田農林技術センター長

ISO14001規格の認証取得が急増していますが、大学内の一組織が認証を取得するのは未だ珍しいといえます。この規格は環境にマイナスの影響を与える原因を少なくし、プラスの影響を与える要素を助長することによって全体として環境を改善していくためのマネジメントシステムの構築と、その継続的改善を目的としています。このため、本センターは引き続き、環境を改善するために生産活動におけるエネルギー及び資源の使用量削減、センターにおける実習などの環境教育・環境研究の実施に取り組んでいくこととなります。

認証の取得に当たり、学長をはじめ多くの方面から多大なるご協力をいただいたことに対し、同センターから、「この紙面を借りて、お礼を申し上げます。」とのことでした。

文部科学省永野博国際統括官が教育開発国際協力研究センターを訪問

2月26日文部科学省大臣官房永野博国際統括官が学長を表敬し、文部科学省の本学に対する強い期待感を表明されました。文部科学省は、平成15年度より基礎教育分野における途上国への教育協力のための拠点システム事業を展開しています。本学の教育開発国際協力研究センター（CRICED）は、その中核センターとして全国共同





左から永野国際統括官，北原学長，村田センター長

利用研究施設の役割を担っています。

永野国際統括官は、学長敬後、教育開発国際協力研究センターを訪問されました。同センターは拠点システム事業の中でも、学校経営、算数・数学教育、理科教育、派遣現職教員協力隊員支援、障害児教育、そして拠点システムその他全事業の成果を発信する電子アーカイブ事業を分担しており、永野国際統括官はその推進を高く評価されました。

村田翼夫教育開発国際協力研究センター長、中田英雄教授（心身障害学系）、磯田正美助教授（教育学系）の他、油田信一教授（機能工学系）が同席した懇談では、関連分野におけるJICAプロジェクトの推進、JICA受入研修の増大、Numeracy（数量図形識字力）育成と関わる情報リテラシー教育などの新協力分野の開拓について説明を受けられました。その上で、アフガニスタン、ボスニア・ヘルツェゴビナなどをはじめとする途上国への本学による国際教育協力は、法人化後の大学の社会貢献を評価する上でますます重要になるとの期待を表明されました。

文京区産業展において「産学官連携推進セミナー」が開催される
- 東京リエゾンオフィス -



東京リエゾンオフィスでは、産学リエゾン共同研究センターと協力し、1月27日（火）～29日（木）に開催された文京区産業展（主催：文京区産業展実行委員会（文京区））開催期間中の1月28日（水）13時30分から、文京シビックセンターシルバーホール（文京区）において、鈴木博章助教授（物質工学系）による産学官連携推進セミナー基調講演「マイクロ化学センサと微小化学分析システム～一般家庭でも簡単に測定ができる超小型ヘルスケアシステムを目指して～」を開催しました（受講者約50名）。

このセミナーは、今年度から発足した文京区産学官連携

推進会議に参画し、活動してきた結果、実現したものです。また、文京区産業展開催期間中は、産学官連携ゾーンにおいて、研究成果の展示と科学技術相談の対応も行いました。

アフガニスタンから現職教員を招へい

- 附属坂戸高等学校 -



鑄造実習に参加するChakari（チャカリ）氏

附属坂戸高等学校では農林技術センター、日本ユネスコ国内委員会との共催により2月16日（月）～24日（火）の9日間にわたり、アフガニスタンより現職の教員を招き、アフガニスタンの復興に向けた教育プログラムの研修が実施されました。

招へい者のMohammad Ghani Chakari氏はカブールの工業技術専門高校の現職教員で、日本の教育制度や総合学科のカリキュラム、専門教育や普通教育の指導法、授業や実習の実践例などについての研修を受けました。また、同氏は、授業や実習、学校行事にも意欲的に参加され、「アフガニスタンの今」というタイトルでの講演も行われました。

短い期間でしたが、今回の研修や体験が、長期間にわたる内戦で破壊しつくされたアフガニスタンの復興並びに同国の将来を託す若者達を健全に教育するプログラムの再構築につながる一助となりました。

同校は、今回の経験をもとに次年度以降もアフガニスタン並びにアジアの教育関係者を招へいし、アジアにおける中等教育や専門教育の充実に寄与することを考えています。

農業機械学会関東支部若手会員による出前講義が行われる
- 附属坂戸高等学校 -

3月1日（月）、3日（水）の両日にわたり、農業機械学会（会長：東京農工大学農学部教授 笹尾彰）の関東支部若手会員4名による出前講義が行われました。

この講義は、農業機械分野の歴史や最先端研究事例を総合学科教育に貢献させることを目的に、長谷川英夫助手



出前講義の様子

(農林工学系)により企画・実施されました。

講義の内容

農業機械の過去・現在・未来

長谷川英夫

鉄腕アトムは何馬力

東京大学農学生命科学研究科 梅津裕

農業機械最先端の研究開発事例

(独)農業・生物系特定産業技術研究機構生物系特定産業技術研究支援センター 藤岡修

農作業を測ってみよう

同機構中央農業総合研究センター 長崎裕司

講義には、農業系科目の選択者を中心に工業系科目の選択者や教職員、延べ90名が参加し、工業系科目選択者の生徒にとっても、普段では学習できない分野の理解を深める貴重な機会を経験することができました。

また、生徒の中には進路選択のモチベーションにつながった者もあり、有意義な実践となりました。

旧姓使用者について

- 総務部人事課 -

筑波大学における旧姓使用の取扱いについて(平成13年11月21日学長裁定)に基づき旧姓使用が承認された職員(学内周知を希望する職員に限る。)を次のとおりお知らせします。

所 属	職 名	戸籍上の氏名	使用する旧姓
附属病院看護部	看護師	寺門 美里	内 田

液体ヘリウム・液体窒素の供給停止のお知らせ

- 低温センター -

低温センターでは、高圧ガス保安法に基づく保安検査及び高圧ガス設備の定期総点検のため、下記の日程で低温寒剤の供給を停止いたします。

液体ヘリウム：3月22日(月)～4月 2日(金)

液 体 窒 素：3月22日(月)～3月26日(金)

平成16年度「人間ドック」の実施について

文部科学省共済組合では、平成16年度も保健事業として成人病の予防と早期発見を目的とした「人間ドック」を下記のとおり実施する予定です。

対 象 者：満年齢35歳(平成16年4月1日現在)以上の組合員及び組合員の被扶養者である配偶者

自己負担額：

組合員

日帰りコース：約20,000円程度(ただし、虎の門病院の胃X線検査無については10,870円)

1泊2日コース：約45,000円程度

被扶養者である配偶者

日帰りコース：約30,000円程度(ただし、虎の門病院の胃X線検査無については20,870円)

1泊2日コース：約55,000円程度

実 施 期 間：7月1日～11月28日

医 療 機 関：

つくば地区

1泊2日コース：筑波メディカルセンター

筑波記念病院

牛久愛和総合病院

総合守谷第一病院

日帰りコース：筑波メディカルセンター

筑波病院

筑波記念病院

筑波学園病院

牛久愛和総合病院

総合守谷第一病院

東京地区

1泊2日コース：平塚胃腸クリニック

六医会内幸町診療所

日帰りコース：平塚胃腸クリニック

池袋藤久ビルクリニック

六医会内幸町診療所

虎の門病院

その他の地区

1泊2日コース：小諸厚生総合病院

・1泊2日コースは、月火・水木・金土で日曜祝日を除きます。

・検査開始日は、月・水・金となります。ただし、筑波メディカルセンターの検査開始日は、水・金曜日のみとなります。(筑波記念病院、総合守谷第一病院及び六医会内幸町診療所は、月火・火水・水木・木金・金土で祝日を除き検査開始日は月～金曜日となります。)

・日帰りコースは、月～土曜日で日曜祝日を除きます。(土曜日については、指定週がありますので、「人間ドック受診申込書」により確認して下さい。)

申込み手続き等：

受診希望者は、「人間ドック受診申込書」(本人用と

配偶者用があります。)に必要事項を記入のうえ、4月7日(水)までに各所属の共済組合事務担当係(者)に提出願います。

受診者には、後日受診日を通知しますので、指示に従って受診して下さい。

申込期限は厳守して下さい。期限経過後は、キャンセル待ちになりますので、御了承願います。

受診日の変更等：

受診月日を変更する事由が生じた場合は、速やかに共済組合係へ申し出て下さい。

7～8月は受診希望者が集中するため、希望の受診日にならない場合があります。他の受診日になることがありますので、予め御了承願います。

原則として配偶者の受診月日は変更できません。婦人科検診は、受診枠が少ないため希望にそいかなる場合があります。

虎の門病院は、受診枠が少ないため、他の病院に変更していただくこともあります。

その他：

人間ドックについてのお問い合わせは、総務部人事課 福利厚生室共済組合係(TEL2953, 2181)または、各所属の共済組合事務担当係(者)へお願いします。

システム情報工学研究科知能機能システム専攻の公開について

システム情報工学研究科知能機能システム専攻で、研究内容を皆様に広く知っていただくため“2004年筑波大学大学院システム情報工学研究科知能機能システム専攻公開「知能と機能の強化2004：～インタラクシオン工学最前線～」”を開催し、最新の研究成果を公開致します。参加は自由ですので、皆様お気軽にお越しください。なお、受付の円滑化を図るため、できましたら事前に下記URLにて登録頂きますようお願い致します。

日 時：3月14日(日)13:00～17:00
15日(月)10:00～16:00

会 場：第三学群L棟2階及び3階

公開項目：

各研究室によるポスター展示及び研究デモ

14日 13:00～15:00, 15:40～17:00

15日 10:00～14:00, 14:40～16:00

専攻長による専攻説明(最近の専攻の研究活動等)

14日 15:00～15:40

15日 14:00～14:40(14日と同じ内容)

事前登録用URL：<http://www.enhanced.esys.tsukuba.ac.jp>

第107回つくばブレインサイエンス・セミナー(3月定例会)開催について

日時：3月23日(火)18:00より

場所：医学専門学群棟 臨床講義室(A)

演題：“A dopamine rich brain system in the monkey balancing work and reward: Behavior, physiology and molecular pharmacology.”

Barry J. Richmond, (National Institutes of Health, U.S.A)

このセミナーは、医科学研究科(修士課程)及び医学研究科(博士課程)との共催セミナーです。

問合せ先：基礎医学系 TBSA 事務局 大野忠雄(代表)
(TEL3098, FAX3495)

E-mail：tbsa@igaku0.md.tsukuba.ac.jp
(Tsukuba Brain Sci. Assoc.)

U R L：<http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tbsa/>

つくばスポーツフォーラム2004の開催「～オリンピックへはばたけ!つくばスポーツ探検隊～」

カラダを動かしませんか?

一緒にスポーツを楽しみませんか!

来る3月13日(土)、本学にて「つくばスポーツフォーラム2004」を開催します。「いつでも、誰でも、どこでも」スポーツを楽しむことができる「スポーツの街つくば」の実現に向けたスポーツ総合イベントです。

当日は、様々なプログラムを用意していますので、奮ってご参加ください。

プログラム内容：

つくばスポーツ探検隊

対象：小学生とその保護者

体験できる競技：

午前：陸上競技、サッカー、体操、フライングディスク、ラグビー、ハンドボール、ブラインド卓球、フラッグフットボール、チアリーディング

午後：ジャグリング、SNAGゴルフ、フロアバレー車椅子スポーツ

ウォーキング教室&ニュースポーツ体験

対象：中高年者

午前：ウォーキング教室

正しい歩き方を知って健康なウォーキングにチャレンジ

午後：ニュースポーツ体験

ジャグリング、SNAGゴルフ、フロアバレー、車椅子スポーツ

オリンピックおもしろクイズ(午後)

対象：年齢不問

場所：スペックアリーナ(体育総合実験棟1階)

内容：つくばとオリンピックの繋がりや歴史について詳しくなれるクイズ

プレゼンテーション&提言(午後)

内容：体育科学系における地域貢献活動の報告と、

つくば市・本学からの「スポーツの街つくば」
創成への提言を行う。

受付：9:00から陸上競技場（雨天時は総合体育館）

参加費：500円（記念Tシャツ，傷害保険含）

問合せ先：河野研究室（TEL2656，FAX2717）

E-mail：activetsukuba@Yahoo.co.jp

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回（通巻1075号）の発行は3月24日（水）、原稿締切りは3月18日（木）となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字（英字・数字は半角）で原稿作成し、できるだけ電子ファイル等で寄稿してください。

学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。

お寄せ頂いた原稿は、Web上で掲載しますので、ご了承願います。なお、「速報つくば」のhtml版及びPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/index.htm>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は大学広報課（TEL2041，FAX2014）へ願います。

E-mail : sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

メールで寄稿なされた際は、「速報つくば」より原稿受付の返信メールを配信いたしますのでご確認ください。原稿受付の返信メールがない場合は、お手数でも大学広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。